

令和4年度 福島高校 学校通信 第1号

もちの木



教育目標

校訓「正大・剛毅・優美」を胸に自己実現に向けて努力を重ねるとともに、身につけた豊かな人間力で社会に貢献する高い志を持つ人を育てる。

令和4年4月28日発行
福岡県立福島高等学校
校長 濱 順一
担当 入試広報課

○入学式

令和4年4月7日（木）に本校体育館で、入学式が挙行されました。春の暖かい日差しの中、来賓の方にもご臨席頂き、真新しい制服を身に着けた新入生153名は、期待に胸を膨らませつつ、緊張した面持ちで式に臨みました。

新入生代表の1年3組熊本虎太郎さんは、「伝統ある福島高校に入学した喜びとともに、校訓の正大・剛毅・優美の精神を心に刻み、これからの3年間、学習や部活動に精一杯取り組みます。そして、心豊かな社会人になれるよう、たゆまず努力します。」と決意を語りました。



○自立と協働を学ぶ体験活動 1年生

1年生は、4月13日（水）～15日（金）に、校内で自立と協働を学ぶ体験活動を行いました。

3日間を通して、校内のことに関するオリエンテーション、イントロクイズやドッジビーなどのレクレーション、目標達成シートの作成、友人紹介、校歌の練習、校内を散策するオリエンタリング、先生方からの講話など盛りだくさんの内容に、時には真剣に時には楽しそうに取り組む姿が見られました。

生徒たちの振り返りの言葉を見ると、活動を通して多くの人と話すことができ、時間を共有することの大切さを感じたようです。人との関係作りを大事にしたいと思っている生徒が多く、今回の体験活動は、そのための大きな一歩となる、充実した3日間になりました。この様子は、RKB「タダイマ」でも報道されました。



○校外スポーツ研修 2年生

4月15日（金）に2年生125名が、スポガ久留米店において校外スポーツ研修に参加しました。午前中は1・3組がアイススケート、2・4組がボウリング、午後は種目を入れ替え、感染症対策を徹底した上で研修を行いました。どの生徒たちも仲間とともにコミュニケーションをとりながら、普段はあまりする機会がないスポーツに励む様子が見受けられました。インストラクターの方々による丁寧な指導もあり、生徒たちは熱心に講習を受けていました。この研修で学んだことを、これからの学校生活に生かしてくれることを期待しています。



○太宰府研修 3年生

4月15日（金）に、3年生は太宰府に校外研修に行ってきました。九州国立博物館に到着後、4階の展示スペースを見学しました。その後、生徒たちはそれぞれのグループに分かれて、感染症対策を十分に行った上で自由に散策を行いました。小雨が降り、肌寒い気候でしたが、生徒たちは太宰府天満宮で合格祈願をしたり、歴史ある街中を散策したりして、有意義な時間を過ごしました。

生徒たちからは「おみくじを引いたり、合格祈願をしたりしてよかった。」「太宰府ならではのおいしい食べ物をたくさん食べることが出来てうれしかった。」という声が多く聞かれ、笑顔あふれる研修となりました。校外での研修は2年時の修学旅行以来で、時間やマナーを守るなど、最上級生として自覚ある行動ができていました。

